

木 ったときの無料相談

2月の日程

相談	期日	時間	会場	申し込み	問い合わせ
法律相談	3日(金) 9日(木) 17日(金)	午後 1時～4時	市役所市民相談室	3日は1月24日(火)、 9日は30日(月)、17日 は2月7日(火)から	自治交流課 (☎402211)
行政相談	8日(木) 15日(水) 16日(木)	午後 2時～4時	市役所市民相談室 16日は鬼石公民館	当日会場へ	
人権相談	10日(金) 24日(金)	午後 1時～3時	市役所市民相談室	当日会場へ	
不動産相談	15日(水)	午後 1時30分～3時	市役所第6会議室	事前に予約が必要です	市社会福祉協議会 (☎25647)
心配ごと相談	毎週水曜日	午後 1時～4時	市社会福祉協議会 (仲町)	当日会場へ	
結婚相談	4日(土) 9日(木) 16日(木)	午後 1時～4時	市社会福祉協議会 (仲町)	印鑑とスナップ写真 (L版)を持って、当 日会場へ	
青少年 電話相談	毎週 土・日曜日	午後 1時～4時	青少年センター (総合学習センター内)	電話でも面接でも受 け付けます	青少年センター (☎244150)
教育相談	毎週 月・火・木曜日	午前9時～ 午後4時	教育研究所 (総合学習センター内)	電話でも面接でも受 け付けます	教育研究所 (☎239801)
家庭児童相談	毎週 月～金曜日	午前9時～ 午後4時	市保健センター	電話で子ども課へ	子ども課 (☎402268)

日常生活に関する悩み事、困り事の相談を無料で受けます。相談員は各分野の専門家で、秘密は厳守します。

治療することで回復します。

焦る気持ち

こここの病気は、本人が苦しんでいても周囲から分りにくいという特徴があります。そのため周囲の何気ない一言や行動で症状を悪化させてしまっていることがあります。私たちはみんながこここの病気を正しく理解し、サポートすることが大切です。

正しい理解を

近年こここの病気で病院に通院や入院をしている人は急増し、全国で300万人以上の人が病気に悩んでいると言われています。こここの病気は特別な人だけがかるものではなく、誰でもかかる可能性のある身近な病気です。



しかし早く治そうと焦って無理をすると、回復が遅れたり症状を悪化させてしまったりすることがあります。じっくり治すという気持ちで病気に向き合うことが回復への近道です。

市ホームページにある「こここの体温計」では簡単にこここの状態がチェックできます。不安や悩みを抱え込まず周囲の人や病院、市役所などにご相談ください。

2月休日当番医

診療時間は午前9時～午後6時
歯科医院は午前9時～正午

日	医療機関	地区	電話
5日(日)	鬼石病院	鬼石	☎3121
	秋山医院	小林	☎8315
	よしだ内科クリニック	白石	☎8958
歯科	魚津歯科医院	上大塚	☎0676
11日(祝)	くすの木病院	旭町	☎3111
	田原内科クリニック	相生町	☎2552
歯科	里村歯科クリニック	高崎市吉井町	027・387・8114
12日(日)	戸塚クリニック	上栗須	☎1800
	藤岡外科内科クリニック	中栗須	☎1356
	藤岡こどもクリニック	小林	☎0024
産婦人科	藤岡総合病院	宮本町	☎3311
歯科	江原歯科クリニック	高崎市吉井町	027・387・1837
19日(日)	篠塚病院	篠塚	☎9261
	すぎやまメディカルクリニック	下大塚	☎1666
	やまうち内科	2丁目	☎5792
歯科	遠藤歯科医院	2丁目	☎0013
26日(日)	光病院	本郷	☎1234
	アイリス診療所	森	☎2542
産婦人科	光病院	本郷	☎1234
歯科	深井歯科医院	高崎市新町	☎0408

都合により変更になる場合があります。連絡の上受診してください。

救急医療機関案内(24時間対応) ☎236699

歯

8020達成のために
の健康

定期検診で予防

本市で歯と口の健康づくりに関するアンケートを行った結果、かかりつけ歯科医院がある人は8割以上でしたが、定期検診を受けている人は4割程度と少ない状況でした。

皆さんの中で歯科医院で定期検診を受けている人はどれだけいるのでしょうか。歯科健診は口の中の異常をチェックし、虫歯や歯周病を防ぐことが目的になります。多くの歯科医師は3カ月から半年に一度の定期検診を推奨しています。定期的に口の中をチェックしてもらうことで、虫歯や歯周病の早期発見・早期治療につながります。

歯を失う原因の多くは虫歯や歯周病です。歯科医院で治療をしても傷んだところを補修するだけで元通りにはなりません。治療を必要とする状態になる前に予防することが重要です。自宅できちんとセルフケアをすると同時に、定期的に歯科医院でプロにしかできないケアをしてもらって、いつまでも美しい歯を保ちましょう。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.10

問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)



↑高山社で実際に使っていた蚕棚と蚕室道具を使用して当時の様子を再現しています。

後世に伝える養蚕

～蚕の飼育空間を再現～

高山社情報館では養蚕資料展示の一つとして蚕室を再現し、5月の連休や夏休み期間中に蚕を飼育しています。再現された蚕室には、実際に高山社で使っていた蚕棚を組み立てています。棚には蚕を飼育する平らなカゴを横2列で24枚差し込むことができるようになっており、この蚕棚を使った「棚飼い」は室内の空間を無駄なく使う工夫でした。飼育中は棚から1枚ずつカゴを引き出して折り畳み式の台に乗せ、桑葉を与える「給桑」やフン・食べ残しを片づける「除沙」などを2人1組で行って行っていました。天井まであるカゴの上げ下ろしは大変な作業であったと思われ、当時の養蚕の苦労がしのべます。